

請願書

件名

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書

紹介議員

田 辺 淳
斉 藤 弘道

朝霞市議会議長殿

2020年2月18日

全日本年金者組合朝霞支部 支部長 大塚 進

朝霞市根岸台7丁目45-16

電話 090-8014-6819

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書

昨年12月19日、政府の「全世代型社会保障検討会議」が、「中間報告」をまとめました。その中で、75歳以上の高齢者医療の負担について「負担能力に応じたものへと改革していく」「一定所得」以上の人は「医療費の窓口負担割合を2割」とすること「団塊の世代」が、75歳以上になり始める2022年度に実施できるよう法制上の措置を講ずるとしています。

窓口負担の引き上げは、後期高齢者の生活および、医療の受診に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

こうした実情を考慮し、後期高齢者が必要な医療が受けられる機会の確保という観点から、窓口負担は現状維持にとどめるよう意見書を提出していただきたく請願するものです。

【請願事項】

後期高齢者の医療費窓口負担は現状維持に努めること

希望提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣